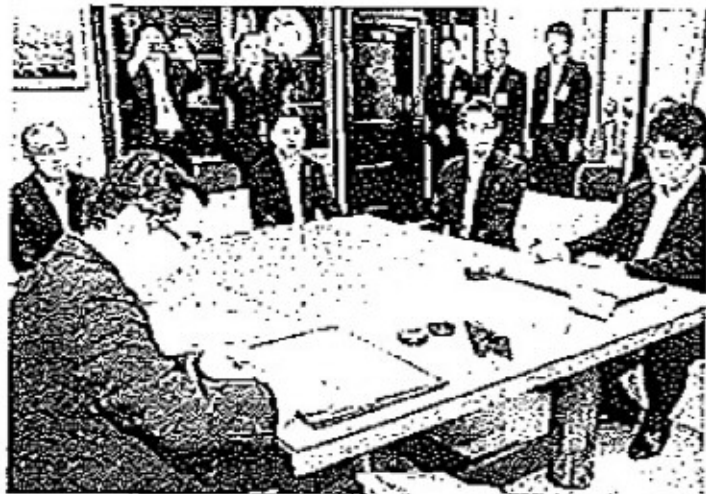


## 福祉用具の供給 協会と市が協定

鹿児島市は12日、災害時に福祉避難所で必要となる物資を迅速に入手できるよう、日本福祉用具供給協会（東京都）と協力協定を締



結した二写真。県内では初めて。

同協会は、福祉用具の貸与・販売業者ら351事業者でつくる。東日本大震災を機に、同様の協定を各地の自治体と結んでいる。

83例目となる今回の協定では、市が指定する77カ所の福祉避難所などに、車いすやベッド、紙おむつといった介護・衛生用品を、レンタルや販売で供給することを盛り込んだ。

同協会副理事長でカクイックスウイング（同市）の岩元文雄社長(53)は「鹿児島市の防災力や安心感が少し

でも高まればいい。広く被災した場合も全国からサポートする」と強調。森博幸市長は「迅速に対応する態勢ができれば市民の安心感につながる」と感謝した。

（上山智子）